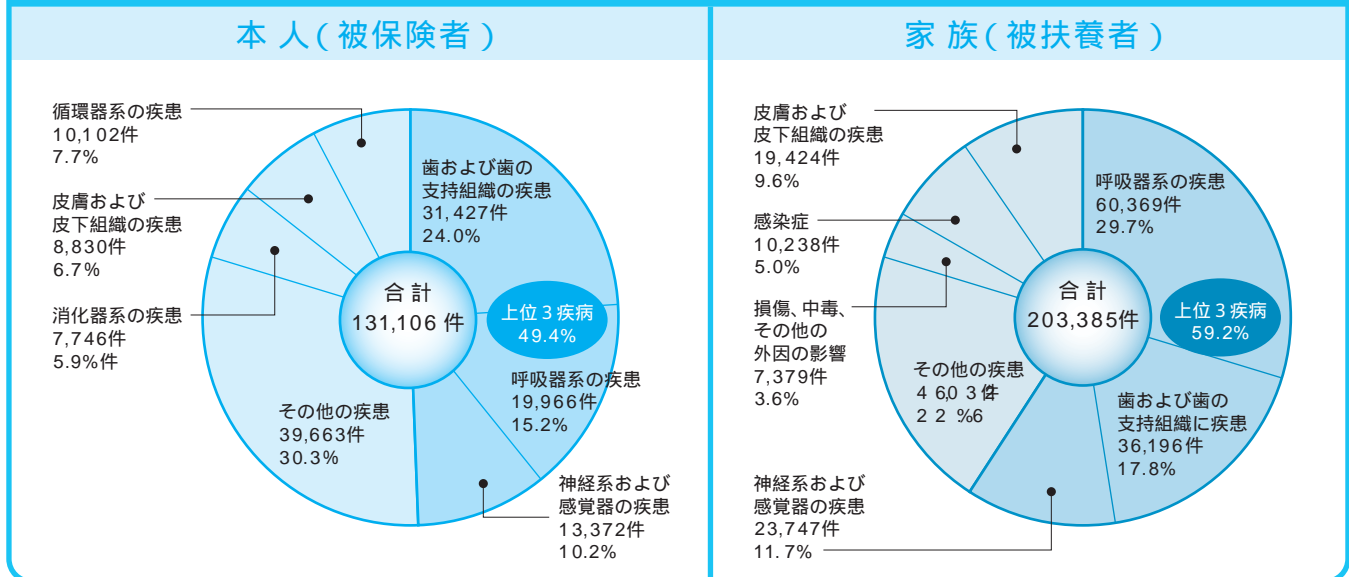


平成15年度 被保険者・被扶養者の疾病状況をグラフでみると

平成15年度の当組合の疾病状況をみると上位3位は、本人では歯および歯の支持組織、呼吸器系、神経系および感覚器の疾患。家族は呼吸器系、歯および歯の支持組織、神経系および感覚器の疾患です。

上位3位の全体に占める割合は、本人では全体の49.4%(14年度50.0%)、家族は全体の59.2%(14年度60%)と半数以上となっています。(事業主診療分は除く)

平成15年度 被保険者・被扶養者の疾病状況



平成15年度 100万円以上の医療費件数および疾病区分

当組合の平成15年度中の1か月で100万円を超える医療費は199件ありましたが、その内容は次表のようになっています。

平成14年度と比較して、件数で11件の減となりましたが、高額療養費総額は6,111万円(52.2%)増の1億7,823万円となりました。これは、平成15年4月から、それ以前は本人2割・家族入院2割であった医療費の一部負担割合が3割へと増えたため、高額療養費としての給付が増加したことによる影響が大きいと考えます。

また、疾病区分では、新生物(悪性腫瘍・がん)と循環器系の疾患(心臓・脳血管疾患)の件数で全体の半

疾病区分	金額と件数		10万円以上		20万円以上		30万円以上		40万円以上		50万円以上		60万円以上		70万円以上		80万円以上		件数計			
	本人	家族	本人	家族	本人	家族	本人	家族	本人	家族	本人	家族	本人	家族	本人	家族	本人	家族				
新生物	2	3	2	1	6	3	1												5	4		
内分泌、栄養及び代謝疾患				3																3		
神経系の疾患	3		4		2															9		
眼及び付属器の疾患	1																			1		
循環器系の疾患	2	2	3		8	2	6		1		4									4	6	
呼吸器系の疾患	3		3																	6		
消化器系の疾患	8		2		1															1	1	
皮膚及び皮下組織の疾患	1		2																	3		
筋骨格系及び結合組織の疾患	1		6		1	2		2												1	2	
尿路性器系の疾患	2		1		1															4		
妊娠、分娩及び産じょく				2																2		
周産期に発生した病態			2	0		8		3		1				1		1				3	4	
先天奇形、変形及び染色体異常			1			2	1	2												6		
症状、徴候及び異常臨床所見で他に分類されないもの				1																1		
損傷、中毒及びその他の外因の影響	5		1				1													7		
合計	6	9	7	0	1	6	2	9	7	1	1	4	0	0	1	0	1	0	1	0	19	9